



発行所
〒107-0052
東京都港区赤坂7丁目
5番38号
公益社団法人
日本PTA全国協議会
発行人 太田 敬介
電話 03(5545)7151
FAX 03(5545)7152
ホームページアドレス
https://www.nippon-pta.or.jp/

この二次元コードをスマートフォンなどで読み取っていただきますと、日本PTA全国協議会のホームページにアクセスできます。

企画編集協力
日本教育新聞社

綱 領

本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校および中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育および家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、児童・生徒の健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容

1・2・3面

○令和6年度 日本PTA年次表彰式を開催!

4・5面

○日本PTAブロック研究大会が8ブロックの各地で開催!

6面

○三行詩入賞者・作品一覧

7面

○Information
広報委員会からのお知らせ

8面

○開催予告・全国研究大会石川大会



令和6年度
日本PTA年次表彰式を開催!

令和6年11月15日(金)ホテルニューオータニにて

令和6年11月15日(金)に東京・千代田区のホテルニューオータニにおいて、令和6年度日本PTA年次表彰式が文部科学大臣代理として茂里総合教育政策局長を迎えて開催され、PTA活動の資質向上及び活性化のため、法人の目的に沿って顕著な業績をあげたPTAに対し、日本PTA全国協議会会長賞として100団体と189人の個人に表彰状が授与されました。

併せて開催された第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式では、全国より小学校・中学校・小中一貫校PTAより総数2,800点の作品の応募から、一次審査、二次審査、三次審査、最終審査を慎重且つ厳正に行い、45団体に「文部科学大臣賞」をはじめとする各賞の表彰状が授与されました。

来賓祝辞
子供たちの成長を地域全体で支える社会の実現に向けて、お力添えをいただきたい
本日、令和6年度「日本PTA全国協議会」年次表彰式が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。また、本日栄えある賞を受

会長式辞
これからも全国各地でPTAの大切さを伝え続ける
大切な役割を担っていただきたい
感謝、お祝いを申し上げます。今、この場に身を置き、これまでのPTA活動や、出会って来た多くの仲間の顔を思い浮かべていらっしゃるとは、嬉し

令和6年度年次表彰・団体表彰

Table listing award recipients by prefecture, including Hokkaido, Aomori, Iwate, Miyagi, Akita, Yamagata, Fukushima, Niigata, Tochigi, Gunma, Saitama, Chiba, Tokyo, Kanagawa, Gifu, Shizuoka, Aichi, Mie, Shiga, Kyoto, Osaka, Hyogo, Nara, Wakayama, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Kumamoto, Oita, Miyazaki, Kagoshima, and Okinawa.

代表謝辞

子供たちが「この国に生まれ、本当によかった!」と、心からそう言えるような国を次代へ繋いでいくことが社会教育団体日本PTAの使命



受賞者代表 江田 明弘 氏

イギリスの歴史哲学者トインビーは一民族滅亡の三原則を以下のように唱えました。

1.理想や理念を失った民族 2.すべての価値をお金や物質で捉え、心の価値を見失った民族 3.自国の歴史を忘れた民族

これらのことは企業や組織、このPTAにも当てはまることです。

みなさんはPTAの理念や歴史、本質的な心の価値を大切にしていますか。通学路に目を向けると、登下校時に街角に立って見守りをしてくれる人がいます。そこにはPTAの皆さんは

もちろんですが、会員ではない方の姿もあります。始まりは自分の子供や孫のためにやり始めたこと、しかし、子供たちが卒業をしてもなお、その活動を続けている人がいます。もしPTAがなければ学校や地域へ目が向くこともなかった。そもそもPTAの目的とは何か。地域社会に対する個々の意識変革をするための団体です。私的なことだけではなく、公的な視点を広く高くすることにあります。これが社会教育の在り方です。

PTA改革の名の下に、規約を変え、新たにルールを作り、事業の中止や見直しなど。目に見えるものよりも、今必要なのは本来の目的を見つめ直すこと、そもそも本質を見失った組織に存在する意義はおろか価値もありません。一人ひとりが自分の住む地域のことを我がごとのように想い、考え、行動することができ

のならばPTAは必要ありません。しかし、人間は人と人との関わりの中で心の成長をしていくもの。各地域の学校を拠点とし、地域ぐるみでの活動を可能とするPTAの存在意義がそこにあります。

PTAはあくまでも道具、理想を描きその理想に向かって行動するための道具。道具は使うものであって、使われるものでもありません。守るものでもありません。いま組織を続けていくことが目的になっていませんか。

「一燈照隅 万燈照国」 自分の身近な一隅を照らす。その明かりはとても小さい。しかし、その一隅を照らす人が、少しずつ増えていき、それが万のあかりとなれば、国全体を照らすことができると信じて

活動中は気づきの連続。気づきを自分の言葉にし、行動が伴った時に初めて学びになるもの。PTAを卒業される皆さんは地域社会が活動の場、まさにこれからが本番です。気づきを学びに変えるとき。それが今です。

「日本PTA」であるなら、一人ひとりが社会・国家の一員として正しい国家観を有し、PTAの歌にあるように「平和で住みよい日本」のカタチを創造し行動すること。そして子供たちが「この国に生まれ、本当によかった!」と、心からそう言えるような国を次代へ繋いでいくこと。それが今、求め続ける組織です。

最後にこのような場をご用意いただいた日本PTA全国協議会へ感謝申し上げます。また、いろいろと大変な時期と重なり、心労も絶えなかつたと思います。決断は執

行部、運営は事務局です。運営にあたっていつも献身的に支えてくれた事務局へ各協議会を代表して衷心より感謝申し上げます。

これからのPTA活動を続ける皆さんへ。どうか社会の空気や雰囲気の流れに流されないでほしい。PTAが追求すべきことは、人と人との関わり、大人の意識変革、子供たちの健全育成を以て「より良い社会をつくること」これは未来永劫変わることはありません。PTAはその理想をいつまでも追い求め続ける組織であってほしいと心から願っています。



全国大会感謝状を授与された浦山川崎大会実行委員長



太田会長から表彰状が各受賞者に授与された

第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式

第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクール入賞校一覧

■文部科学大臣賞		
小学校PTAの部	いそかぜ	大磯町立大磯小学校PTA
中学校PTAの部	MATSUSHIRO PTA PAPER	長野市立松代中学校PTA
■日本PTA全国協議会 会長賞		
小学校PTAの部	仁和小学校PTAだより	仁和小学校PTA
	のぎっこ通信	松江市立乃木小学校PTA
	東苑	那覇市立城南小学校PTA
中学校PTAの部	みどり	岩見沢市立緑中学校PTA
	堀江だより	大阪市立堀江中学校PTA
	でいご	浦添市立浦添中学校PTA
■日本教育新聞社 社長賞		
小学校PTAの部	GOGOえんさん	福井市円山小学校PTA
	広報みなみ	糸島市立前原南小学校父母教師会
	西池	宮崎市立西池小学校PTA
中学校PTAの部	大銀杏	八戸市立根城中学校父母と教師の会
	いばら	茨城大学教育学部附属中学校PTA
	ひまわり	西条市立東予西中学校PTA
■教育家庭新聞社 社長賞		
小学校PTAの部	あかつき	宇都宮市立西小学校PTA
	学鐘	安来市立十神小学校PTA
中学校PTAの部	たがえし	富山大学教育学部附属中学校PTA
	清流	安来市立第一中学校PTA
■企画賞		
小学校PTAの部	ひばかり	長浜市立永原小学校PTA
中学校PTAの部	さくら	長崎市立桜馬場中学校PTA
■写真賞		
小学校PTAの部	やしろ南PTAタイムズ	福井市社南小学校PTA
中学校PTAの部	まほろば	和泉市立南池田中学校PTA
■レイアウト賞		
小学校PTAの部	forêt	泉大津市立 穴師小学校PTA
中学校PTAの部	PTA会報	北栄町立北条中学校PTA
■佳作		
小学校PTAの部	こだま	旭川市立東五条小学校PTA
	Smile	札幌市立円山小学校保護者と先生の会
	城北	名古屋市立城北小学校PTA
	ひがし白壁	名古屋市立東白壁小学校PTA
	あゆみ	各務原市立那加第三小学校PTA
	クローバー	京丹後市立かぶと山小学校PTA
	ふじとPTA新聞	東大阪市立藤戸小学校PTA
	PTAだより たいま	葛城市立當麻小学校PTA
	ざくらばる	宇美町立桜原小学校PTA
	しおさい	南島原市立野田小学校PTA
中学校PTAの部	福移	札幌市立義務教育学校福移学園PTA
	わかば	柏市立柏第四中学校PTA
	あゆみ	沼津市立金岡中学校PTA
	くすのき	長久手市立北中学校PTA
	佐屋中 PTA 新聞	愛西市立佐屋中学校PTA
	KK-PTA TIMES	京都市立京都北小中学校PTA
	野田中PTA	大阪市立野田中学校PTA
	星雲	松江市立八雲中学校PTA
	北稜かわらばん	香川県立高松北中学校・高等学校PTA
	Green9	木城町立みどりの杜木城学園PTA
■WEB版日本PTA全国協議会 会長賞		
	ひよみなPTA ブログ	横浜市立日吉南小学校PTA



受賞者の皆さん

第46回となる当コンクールは、最高位の「文部科学大臣賞」を小学校PTAの部では、大磯町立大磯小学校PTAの「いそかぜ」が、中学校PTAの部では、長野市立松代中学校PTAの「MATSUSHIRO PTA PAPER」が受賞しました。

大磯小学校PTAが発行する広報紙「いそかぜ」は、20年度に、従来型のPTAから任意加入を明確化し、広報サポのほか、校内の畑で子供たちが実施している野菜作りを支える「畑サポ」、ICT情報通信技術の学校への導入を支援する「ITサポ」など多様な活動を展開しており、広報紙ではその成果や意義を写真と文章で報告しています。また、俳句の投句など子供たちの参加企画も多数あるほか、学校教諭の協力のもと、写真掲載許可を一つ一つ取り、児童の笑顔が全面に出

文部科学大臣賞に小学校PTAの部では大磯町立大磯小学校PTAが、中学校PTAの部では長野市立松代中学校PTAが受賞！

公益社団法人日本PTA全国協議会では、日本PTA全国協議会傘下の小・中学校で発行するPTA広報紙を募集し、優秀な作品を表彰しています。当コンクールの趣旨は、各小・中学校PTAで発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助となることを目的としています。

令和6年度に実施した第46回全国小・中学校PTA広報紙コンクールでは、全国より小学校・中学校・小中一貫校PTAより総数2,800点の作品のご応募をいただき、二次審査、三次審査、最終審査を慎重且つ厳正に行い、各賞及び佳作を決定しました。



長野市立松代中学校PTAの広報紙「MATSUSHIRO PTA PAPER」

長野市立松代中学校PTAの「MATSUSHIRO PTA PAPER」は、「親子で話したくなる」をテーマに、学校や地域の情報について、先生や生徒などを取材対象としたインタビュー記事を活用するなど、親しみやすく、手に取ってもらえる広報紙となっています。

全国小・中学校PTA広報紙コンクールについて

趣旨
各小・中学校PTAが発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活性化を促進し、PTA活動の一助となることを目的とする。
審査の流れ
1 各地方協議会で第一次審査を行い小学校PTA6点以内、中学校PTA4点以内を選考。
2 各地方協議会は第一次審査した作品を公益社団法人日本PTA全国協議会事務局に送付する。
3 公益社団法人日本PTA全国協議会は第一次審査で選ばれた作品について第二次、第三次、最終審査の3回の審査を行う。
4 「WEB版」は、各地方協議会で第一次審査を行い3点以内で選考したものを、公益社団法人日本PTA全国協議会において、最終審査で審査を行う。 ※年に1回以上発行された、単位PTAの広報紙が審査対象。
審査基準
PTA広報紙のもつ目的・使命・記事の内容・編集方法・レイアウト・見出し・文章などについて総合的に審査する。
審査委員
文部科学省、学識経験者、公益社団法人日本PTA全国協議会、日本教育新聞社、教育家庭新聞社



文部科学大臣賞を受賞した大磯小学校PTAの皆さん



日本PTA全国協議会会長賞が太田会長から授与された
教育家庭新聞社社長賞が柳社長から授与された
日本教育新聞社社長賞が小林社長から授与された

日本PTAブロック研究大会が8ブロックの各地で開催!

8ブロック各地域の特色ある研究大会の開催となりました。

第56回日本PTA関東ブロック研究大会

川崎大会

【開催日】令和6年8月23日(金)・24日(土)
【会場】とどろきアリーナ

【大会スローガン】

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から「活かそう」縁の力
【メインテーマ】
社会の大きな変化を学び、進化を考えるPTA活動
自己肯定感を高め合い、活力あるPTA活動
誰も取り残さない、居場所を大切にPTA活動

大会初となる全国から300人の参加者が一つの会場
「とどろきアリーナ」に集い、PTAの「縁」が紡ぐ家庭・学
校・地域の道を通じてウェル
ビーイングの大切さを、社会
に伝え広げる意義深い大会と
なりました。

第80回日本PTA東海北陸ブロック研究大会

愛知大会

【開催日】令和6年10月25日(金)
分科会/令和6年10月26日(土)
【会場】Niterira 日本特殊陶業市民会館
他2会場

【テーマ】

誇りを胸に笑顔を繋ぐ心の輪、輝く未来であるために、

東海北陸ブロック6県1市のPTA会員が一帯に会し、PTAの当面する今日的課題について研究・実践・活動した成果をもとにPTA活動の情報交換を行いました。分科会では互いに協力してPTA活動の振興に資することを目的に2つの実践発表と講師による講演を開催しました。

全体会では、日本高校ダンス

部選手権全国大会準優勝をはじめ輝かしい実績をもつ豊田大谷高等学校ダンス部がオー
プニングアトラクションとしてダンスを披露。

式典の後、記念公演として、愛知子供の幸せと平和を願う合唱団と、ともに歌う合唱団(指揮・作曲/藤村記一郎氏)による「ぞうれっしゃがやってきました」が演じられました。名古屋



豊田大谷高等学校ダンス部によるアトラクション

会場に入場して、まず目に飛び込んでくるのが会場中央に設置されたステージ、360度全方位への開放感。その会場設営と大会趣旨やテーマの下、PTA活動に尽力された方々を称えた。受賞者代表の挨拶「親は皆頑張っている、子供たちは皆大切」に皆大きく頷き、明日へのさらなる意気込みを共有する大会となりました。



開放感あふれる360度全方向のステージ

仕立ての「ぞうれっしゃ」が全国から名古屋へ。
記念公演の最後には、会場全体で「ぞうれっしゃよはしれ」を歌い、平和の大切さ、命の尊しみを体感する記念公演となりました。

分科会テーマ

- 第1分科会 家庭教育A
実践発表① 殿下校思い出ツナグプロジェクト ~閉校の悲しみを希望に変えて、未来へツナグ~
実践発表② 手軽なPTA活動を目指して ~負担なく・無理なく・簡単に~
- 第2分科会 家庭教育B
実践発表① 今こそ!PTA ~子どもを見守るPTAが一連托生に~
実践発表② 「例年通り」からの脱却! ~楽しく、無理なく、ためになるPTA活動を目指して~
- 第3分科会 学校支援A
実践発表① 今だからできること、そして、今しかできないPTA活動 ~1.1 能登半島地震 被災地で生まれた本当の協働~
実践発表② 学校の素材を生かし、地域連携を深めるPTA活動 ~あったかイベント「親子焼き芋パーティー」~
- 第4分科会 学校支援B
実践発表① 持続可能なPTA活動の創造
実践発表② 子どもたちのためにできることを ~子ども・学校に寄り添うPTAをめざして~
- 第5分科会 地域連携A
実践発表① コロナ禍を経てなお、見直し、継続していく地域連携 ~地域性と小規模校の特性を生かした、伝統文化の継承~
実践発表② 地域社会との緊密な連携を築こう ~PTA、地域、学校で子どもの成長を見守る~
- 第6分科会 地域連携B
実践発表① 地域連携の重要性 ~光陽っ子のために(安全・見守り)~
実践発表② 地域と協働・連携するPTA活動 ~地域とのつながりを今こそ~



会場全体で「ぞうれっしゃよはしれ」を歌い感動のフィナーレ

第56回日本PTA東北ブロック研究大会

東青大会

【開催日】分科会/令和6年9月7日(土)
全体会/令和6年9月8日(日)
【会場】リンクステーションホール青森 平内町勤労青少年ホーム、青森4市内5会場

【テーマ】

「子どもを感動させる子どもを感動させるにはおまえ自身が感動しなきゃいかん。そのためには学びをこめな。」
「すべては子どもたちの笑顔のために」※青森市出身の偉人、榎方志功氏の言葉を一部流用

「いい大会にするべ」を合言が、分科会、全体会の随所にその思いが感じられた大会となりました。大会で得られたものを確かなものにしていくためにも、自身の考えを行動に移す、参加者の意見が反映されるようにと運営にも工夫を凝らしました。

「感動させるためには学びをこめな」という2日間でした。なごる何かが見えた「東青大会」となりました。



東青大会実行委員と仙台市のメンバーが壇上に上がり閉会

第71回日本PTA北海道ブロック研究大会

石狩管内・千歳大会

【開催日】分科会/令和6年10月19日(土)
全体会/令和6年10月20日(日)
【会場】北方文化ホール、千歳市内2会場

【大会スローガン】

大切にしたい子育ての神髄、子育ての不易と流行を考える、

【テーマ】

地域や家庭で共に学び、支え合う社会の実現を目指して

7つの分科会のうち2つはオンラインで、それぞれ提言発表とグループ協議を行なわれましたが、提言者からの想いが伝わり、各会場で活発な意見交換が行われました。また、情報交換会においては、日本航空高等学校の大鼓チームの演奏、石狩管内7市町村のPRなど、とても賑やかで和やかな会となりました。

考え直し、子供たちの健やかな成長を育むために何ができるのかを考
えなければと改めて感じた記念講演でした。



石狩管内・千歳大会式典の様子



植松努氏による記念講演

分科会テーマ

- 第1分科会 組織運営
多方面から見た組織運営のあり方
提言1/優秀賞を受賞した単位PTA活動における組織運営
- 第2分科会 家庭教育
保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動
提言1/保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動
- 第3分科会 学校支援
保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動
提言1/保護者が主体的に取り組むPTAプロジェクト活動
- 第4分科会 地域連携
子育てを支える学校と地域のつながり
提言1/函館市立千代田小学校と地域の連携
- 第5分科会 情報
PTAの活性化を図るICTの効果的な活用
提言1/ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動
~PTAに参加してよかったと思えるように~
提言2/ICTを利用した手稲区PTA連合会の活動
~弱すれば通ず、原点復帰とICT活用で
進化したPTA活動を~
- 特別第1分科会 中学生討論会 (Zoom分科会)
SNSとの上手な付き合い方を考える
基調提言/子どもたちの思いから見える、より良いSNSとの関わり方について
- 特別第2分科会 地域課題
持続可能なPTA活動を目指して
提言1/新篠津村立新篠津中学校 持続可能なPTA活動を目指して
提言2/当別町立西当別小学校 持続可能なPTA活動を目指して

分科会テーマ

- 第1分科会 健全育成・家庭教育
「食育から考える様々な課題へのフォローアップ」
・心と言葉で語り合える家庭教育・子どもの居場所づくり・ハラスメント化した「いじめ問題」への家庭、学校の対応・全寮制学校ルールから家庭ルールへ、不登校への取組・発達障害への取組
- 第2分科会 教職員によるPTA活用法
「教職員のためのPTA活用法」
・教職員を対象としたテーマ・理想の学校教育環境を創出するために必要な教員側からのアプローチについて・PTA組織を活用するための視点について・CS化の流れの中でのPTAの役割とは
- 第3分科会 食育と学校環境
「食育から考える健やかな子どもの育成」
・弁当から給食、給食無償化への流れ・食育の役割・給食残渣について・教職員の昼休み問題・地産地消、自産自消・学校給食甲子園優勝養護教諭から
- 第4分科会 運動部活動地域移行
「マルチスポーツの可能性と運動部活の地域移行」
・知識と資格を有した指導者の人材確保・保護者の経済的負担の懸念・学校教育との運動の継続確保
- 第5分科会 学校統廃合
「子供の立場で学校統合の実態を考える」
・現実的な学校統合シミュレーション・地域の中での学校の役割は統合でどうなるか・子どもための学校統合になっているか・学校が変わる子どもへの家庭でのケア
- 特別分科会 組織運営
「保護者の本音と教職員の本音 この狭間でPTAが担うべき役割とは」
・PTA活動の本質的目的や意義について・教職員、保護者から捉える目指すべきPTAの姿・PTA不要論の原因にもなっている活動の形式化や強制的な動員方法の解決策・CS移行による新しいPTAイメージ



大津市立膳所小学校の子供たちによるアトラクション

第50回日本PTA近畿ブロック研究大会

【開催日】令和6年11月9日(土)
【会場】びわ湖大津プリンスホテル

【テーマ】
子供たちの未来のために滋賀から意識と行動を変える

午前中に開催された各分科会では、参加者による活発な意見交流が行われ、午後からの全体会においては、大津市立膳所(せぜ)小学校の子供たちによるアトラクション「心をひとつにソーラン節」で幕を開けました。

分科会テーマ

- 第1分科会 組織・運営
～PTA組織の活性化と効果的な運営～
任意加入問題で揺れるPTAに対して、組織内コミュニケーションの改善と活動計画の立案・実行に向けた戦略の検討を行う。
- 第2分科会 生涯学習
～子供から大人までの学びの機会の提供と促進～
地域の学習ニーズの把握、ICTを活用した生涯学習プログラムの開発、学校との連携強化による学習環境の整備を検討する。
- 第3分科会 人権学習
～差別やいじめのない社会の実現と人権教育の推進～
人権に関するプログラムの開発、対話と理解を深めるための啓発活動、学校や地域との協働による人権問題への取組の強化を検討する。
- 第4分科会 青少年健全育成
～健全な心身の発達を促進するための支援体制の構築～
成長期の体験を自らの生き方の基盤とする重要性を踏まえ、次代を担う子供たちに対する豊富な体験の提供方法や、健全育成支援の強化策を考える。
- 第5分科会 広報活動
～地域社会への情報発信とPTA活動の理解促進～
効果的な広報手段とメッセージ戦略の検討、PTAの価値と役割の理解を深める啓発活動の実施を検討する。
- 特別分科会 社会に広がる子育ての輪
～「子育ては家庭だけでなく社会全体であるもの」の理念の考察～
単位PTAの創意ある取組が、県PTA組織を通して他地域に広がる過程を振り返るとともに知事・県教育長をはじめ行政・教育行政各機関や地域の各種団体との連携による「社会全体の子育て」について考える。

演題に大人がどのようにして子供たちに積極的な経験の機会を提供し、子供たちの自信と生きる力を育むことができるのかお話しいただきました。子供たちが自信を持ち、未来に希望を抱きながら成長するために、私たちができることを学ぶ絶好の機会となりました。



齋藤孝氏による記念講演の様子

九州ブロック研究大会会長 大会は、出島メッセ長崎での一カ所集中開催で参加者の利便性を高め、提言発表をもとに参加者同士で話し合い、学び合う6つの分科会が設けられました。各自が希望する分科会に分かれ、ワークショップ形式での研修が行われるとともに、「今目的と課題」をテーマに、参加者アンケートをリアルタイムで共有しながら進めるパネルディスカッションなども実施されました。



全体会での式典の様子



野々村友紀子氏による記念講演

野々村友紀子氏による「強く生きるためのヒント」の記念講演では、心が挫けない子育てについて、「悩んだら考えずに寝る」「反抗期の子ともは子どもが悪いのではなく、成長ホルモンが悪いんだ」といった視点を提供され、視点を少し変えるだけで、大人たちの子どもへの捉え方がポジティブに変わること気がづか

分科会テーマ

- 第1分科会 組織・運営
時代の変化に応じた持続可能なPTA活動
- 第2分科会 家庭教育
楽しみながらもためになる親の学びを進めるPTA活動
- 第3分科会 人権教育
多様性(個性)を意識し、違いを認め合うことで自尊感情を高めるPTA活動
- 第4分科会 教育環境
家庭・学校・地域が協働して教育環境を整えるPTA活動
- 第5分科会 広報・地域連携
家庭・学校・地域・行政とのつながりを深めるPTA活動
- 特別分科会 今日的課題
PTA改革を真正面から考える



長崎の伝統芸能である「龍踊」のアトラクション

第69回日本PTA九州ブロック研究大会

【開催日】分科会/令和6年10月26日(土)
全体会/令和6年10月27日(日)
【会場】出島メッセ長崎

【大会スローガン】
学びを实践へ！〜集まるって語り合おうでやってみようで〜

(じゃおどり)が披露され、その迫力ある演舞は庄巻で総勢4,373人の参加者を魅了しました。

され、これからの子育てに役立つヒントを得られました。

第53回日本PTA四国ブロック研究大会

【開催日】令和6年11月17日(日)
【会場】藍住町総合文化ホール

【テーマ】
未来へ響け！ツナガリの輪！〜PTAがあなたのために今できること〜

子供たちのしあわせを願う、日ごろから実践活動が続けている四国4県のPTA会員が一堂に集い開催された四国ブロック研究大会徳島大会は、式典前に阿南市立阿南第二中学校ジャズバンド部による素晴らしい演奏で始まり、四国ブロックPTA協議会の表彰等が行われた後の基調講演では、「子どもたちが元気で幸せでいられるために親ができること」を演題に鳴門教育大学大学院教授の葛西真記氏が子供たちが、いじめや不登校のない学校生活を送れるようにと臨床心理士会代議員としての体験を通じて講演されました。

引き続き、「いのちと夢のコンサート」として、合唱作曲家の弓削田健介氏が、歌と映像とお話と聞いていて涙あり、笑いあり、感動ありの公演をしていただきました。なかでも、全国の皆さんと「何か日本を元気にできること」について、山頂に1,000人で登頂してみんなの夢を書いた「富士夢・仲間」の活動のお話には大感動の素晴らしいコンサートとなりました。

第54回日本PTA中国ブロック研究大会

【開催日】令和6年11月2日(土)
【会場】KDDI維新ホール

【大会スローガン】
つむぐ〜未来(これから)の大人たちへ〜



華やかにオープニングを彩ったアトラクション



大会開会式の様子

「紡ぐ」という言葉は、繊維を引き出し縫うことで糸を作ることですが、この意味合いから学校行事やPTA活動を通じて「保護者と教職員の絆が紡がれること」で、子供たちを思う気持ちがあつむがれていくことを願って開催された「やまぐち大会」。

当日は早朝からの豪雨により公共交通機関の運休・遅延、高速道路の一部通行止めなどがありましたが、スケジュールを急遽変更し開催することができました。

山口県在住で数多くの受賞歴を持つダンスチーム「ぼほむまろんず」と現在大活躍中の内田温大・弘幸親子によるドラム演奏によるアトラクションで開幕したやまぐち大会は、山口市徳島地区PTA、山口市小郡地区PTA、秋市立萩東中学校PTAの3協議会による実践発表とトークセッションの後、タレントのゴルゴ松本氏による記念講演「出張！ゴルゴ塾(命)の授業」が行われました。「命」など漢字を体で表現するギャグでお馴染みのゴルゴ松本氏が、漢字の話や歴史の話をもった熱い授業を展開していただきました。



葛西真記子氏による基調講演



後藤田正純徳島県知事より来賓祝辞を賜りました



次期開催「高知大会」のアピール



弓削田健介氏による「いのちと夢のコンサート」

【実施要綱】

Table with 2 columns: Category (趣旨, 主催, 後援, 概要, 審査の流れ) and Content. Content includes details about the campaign's purpose, organizers, and the review process.

【作品の活用等】

全ての優秀作品の著作権は、公益社団法人日本PTA全国協議会に帰属する。優秀作品については、公益社団法人日本PTA全国協議会作成の資料やパンフレット、各種イベント等における広報・啓発活動において幅広く活用予定。

楽しい子育て全国キャンペーン 三行詩募集. Includes a poster with details on submission periods, eligibility, and contact information.

令和6年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩募集について、全国より小学生の部・中学生の部・一般の部合計83,461点の作品のご応募をいただき、二次審査、三次審査、最終審査を慎重且つ厳正に行い、各賞及び佳作を決定しました。

令和6年度「楽しい子育て全国キャンペーン」～家庭で話そう!我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩表彰作品が決定!

令和6年度「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩入賞者・作品一覧

Table listing award winners and their poems. Categories include: 文部科学大臣賞, 内閣府特命担当大臣賞, 「早寝早起き朝ごはん」全国協議会会長賞, 日本PTA全国協議会会長賞.

Table listing佳作 (Special Commendation) winners and their poems. Categories include: 小学生の部, 中学生の部, 一般の部.

Information

全国の各協議会による取組 要望活動編

(一社)北九州市PTA協議会

(一社)北九州市PTA協議会(以下北九州市P協)では、夏休み明けに毎年単位PTAからの要望を集約し、市教育委員会に対する要望活動を行っています。

この取り組みは、単位PTAが直接意見を届ける貴重な機会となっており、教育環境の改善に役立っています。

業・部活動に支障が出ているため、エアコン整備をさらに推進し、安全で快適な学習環境の確保の要望を致します。

2、トイレの改善【継続】
子供たちが健康な学校生活を送るためにも、使いやすく

気持ちのよいトイレ環境の整備が重要なため、更なるトイレ環境改善を要望致します。

3、インターネット環境の強化【新規】
ICT機器の利用量増加により、機器の立ち上がりが遅

令和6年度 教育環境要望書 内容(抜粋・要約)

1、特別教室や体育館のエアコン整備【新規】

市内の市立小・中・特別支援学校の多くの特別教室や体育館にはエアコンが未設置です。近年の猛暑の中で、授



要望書を提出した際の写真

広報委員会では、全国から協議会が参加し、各協議会での活動情報や知見が集結するため、みんなで共に活動を活性化させるべく情報共有を図ることにしました。

今回は、要望活動を行っている協議会にフォーカスを当て、一社 北九州市PTA協議会と広島市PTA協議会の事例をご紹介します。



mottoの画像(スクリーンショット)

くなる、通信速度が低下するなどの支障が出ていると聞いています。円滑な授業のため、インターネット回線やWi-Fiの増強を要望を致します。

4、教職員の定数確保と充実【継続】
教職員の絶対数が不足しており定数確保が急務です。専科指導や特別支援教育、不登校対応に関わる教職員やスクールサポート・スタッフ等の増員も求められています。

よりの良い教育環境となるよう、教職員の定数確保と充実をお願いいたします。

5、令和6年度 市教育委員会と北九州市P協との「教育懇談会」

懇談会のなかで、北九州市P協が独自に開発したPTAクラウドシステム「motto」の登録促進をお願いしました。

PTA活動のDX化を目指す取り組みの目玉として開発された「motto」は、情報発信や会員管理、アンケート機能に加え、災害時の安否確認など防災面にも力を入れています。現在、北九州市の危機管理室との協力を目指し、調整を進めています。

また、市教育委員会だけでなく、北九州市長にも要望書を提出し、さらなる協力を求めています。

本システムの普及により、市内のPTA活動が活性化し、円滑に運営されることともに、子供たちの安心・安全がより一層確保されることを願っています。

PTAの存在意義を周知するため、以下の方法で保護者の皆様へ積極的に情報発信しています。

1. PTA新聞への掲載
活動内容や要望事項、取り組みの進捗を定期的に報告しています。
2. ウェブサイトやSNSの活用
PTAの公式ウェブサイトやSNSを通じて、リアルタイムで情報を発信しています。
3. 保護者会や説明会の開催
保護者会や説明会を通じて、直接保護者の皆様に活動内容を説明し、意見交換を行っています。

広島市PTA協議会

■要望に関する広島市の取り組み

●年に1回、広島市教委に対して文書にて要望しています。

具体的な流れとして、例年、いじめ防止事業を展開し、市教委や関係団体等との意見交換を通じて、活動報告や情報共有を実施し、草の根活動を行っています。

要望内容は、子ども達と教員の教育環境にかかること全般についてです。

●特別教室、体育館のエアコン設置について

●小中学校講師へのタブレット端末配布について

●Wi-Fi環境の改善について

●教職員による児童生徒に対する性犯罪、性暴力、ハラスメントに関する対策などについて

●いじめアンケートの改善について

●PTAの縮小が進む中で今後のPTAが向かうべき方向について

●部活の地域移行にPTAが果たす役割について

その際、年に一度、市長へ表敬訪問し以下の内容の報告・周知・事業協力をお願いしています。



市長へ表敬訪問時の写真

今後、取り上げて欲しい協議会は広報委員会まで情報提供ください。
次号は、都道府県協議会から取り上げますので、乞うご期待！

開催予告

第73回 日本PTA全国研究大会

第81回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会

石川大会

令和7年 8月22日(金)・23日(土)



大会スローガン

「サステナブルな未来づくりのために」

将来の変化を予測するのが難しい時代にあって、私たちは持続可能(サステナブル:Sustainable)な未来を描きたい、そして子供が自らよりよい社会と幸福な人生を創り出していけるような環境を創りたいと考えています。そのために集い、諸課題について学び合い、自らの学びをアップデートしていきましょう。



分科会

8月22日(金) 13時30分~16時45分

第1分科会/家庭教育

小松市 石川県小松市團十郎芸術劇場うらら

第2分科会/学校教育

加賀市 加賀市文化会館

第3分科会/地域連携

七尾市 七尾市文化ホール

第4分科会/人権教育

白山市 白山市松任文化会館ピーノ

第5分科会/広報活動

金沢市 金沢歌劇座

第6分科会/今日的課題

野々市市 野々市市文化会館フォルテ

特別第1分科会【日本PTA担当】

金沢市 石川県立音楽堂邦楽ホール

特別第2分科会【文部科学省協力】

金沢市 石川県立音楽堂コンサートホール

大会開催にあたって

令和6年1月1日に能登地方を震源とする令和6年能登半島地震の発災直後より、全国の皆さまから、温かい励ましのお言葉をいただきました。この場をお借りして、公益社団法人日本PTA全国協議会を通じて支援金をお寄せいただいた皆さま、直接石川県PTA連合会に支援金をお寄せいただいた皆さまに厚く御礼申し上げます。石川県PTA連合会では、お寄せいただいたお気持ちを具体的な形にすべく、PTAだからこそできる支援活動に努めて参ります。

想像を超える被災状況の中、被災地を離れて前例のない中学生の集団避難も行われました。少しずつ復旧復興が進んではいますが、地元を離れざるを得ない会員も少なくありません。このような中で私たちは、全国大会を開催すべきか、開催できるのか、県内市町の会長から意見を聞き協議を重ねました。当初は開催延期または中止の意見もありましたが、能登地区の会員から全国大会にはできる範囲内で協力したいとの話があり、被災した会員に十分配慮した上で、全国大会を「開催する」方向でまとまりました。

令和6年5月、令和6年度の石川県PTA連合会定期総会で、改めて第73回日本PTA全国研究大会並びに第81回日本PTA東海北陸ブロック研究大会石川大会の開催を確認し、全国大会へ再チャレンジすることになりました。

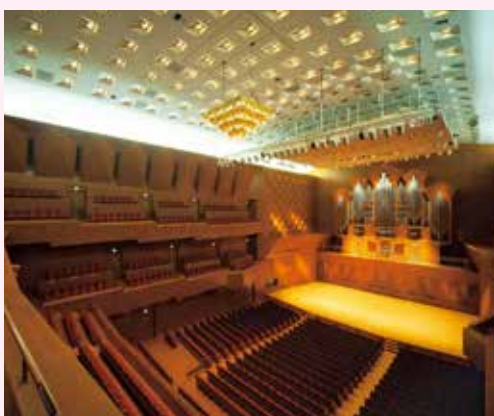
十分な準備ができないこともあるかとは思いますが、精いっぱい努めて参ります。石川県へのご来県をお待ちしております。



全体会

8月23日(土) 9時~12時20分

石川県立音楽堂コンサートホールをメイン会場とし、1日目の分科会会場をサテライト会場としてインターネット回線をつなぎ、オンライン開催といたします。



世界農業遺産に認定された「能登の里山里海」をはじめ、美しい景観と多様な生物に恵まれた七尾湾など自然豊かな石川県。日本を代表する工芸品として有名な輪島塗や九谷焼、山中漆器などの伝統工芸産業も盛んです。石川県は、日本の貴重な財産でもあります。